

# 第2期青梅市スポーツ推進計画 概要版

(計画期間：令和6～15年度)



## 第1期計画の進捗状況

- ・東京2020大会に向けた気運醸成等により、スポーツ実施率は向上
- ・新型コロナウイルス感染症により、スポーツ活動が大きく制限
- ・その間も、人口減少や高齢化が進行し、ライフスタイルは変化
- ・デジタル技術の発展により、スポーツ界におけるDXも急速に進展

青梅市総合世論調査結果(R3年度)によれば…

【スポーツ実施率】

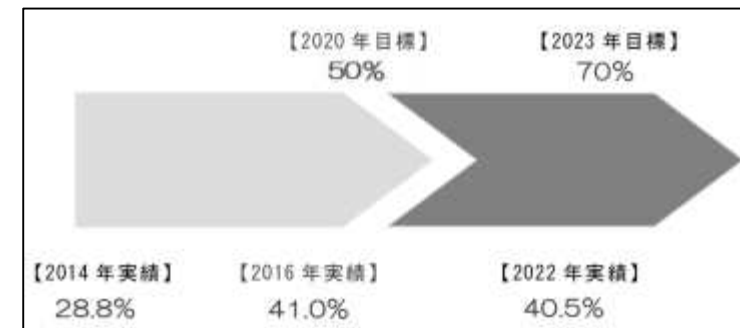
40.5%  
「週に1回以上」



【スポーツをしていない理由】

23.8%  
「する機会がないから」

第1期計画の数値目標と実績(成人市民の週1回以上のスポーツ実施率)



## 現状分析から浮かび上がる5つの課題

- ①多様なライフスタイル・ライフステージに応じたスポーツ機会の創出
- ②スポーツに対する興味・関心の向上とメガ・スポーツイベントの活用
- ③スポーツを支える人材の確保と担い手の育成
- ④生涯学習(まなび)としてのスポーツの普及・啓発
- ⑤スポーツを通じた持続可能な社会の構築と地域活性化

ポイント 計画の基本となる視点

「する」スポーツ 「あそぶ」スポーツ  
「まなびあう」スポーツ  
「ささえる」スポーツ 「みる」スポーツ

第3期スポーツ基本計画(スポーツ庁)より



## 第2期青梅市スポーツ推進計画 基本理念「誰もがスポーツに親しみ、熱気のあるまち・おうめ」

令和15(2033)年度におけるスポーツ実施率 **70.0%** を目指して、以下の施策を実施

### ①青梅らしい多様なスポーツの推進「する」スポーツ

- 自然環境を生かしたスポーツ・レクリエーションの充実
- こどものスポーツ活動の促進
- 成人や子育て世代のスポーツ活動の促進
- 高齢者のスポーツ活動の促進
- 障がい者のスポーツ活動の促進
- 地域でのスポーツ活動の促進
- 身近なスポーツ施設の活用



### ②魅力を伝えるスポーツの推進「みる」スポーツ

- スポーツイベントの開催
- トップスポーツと触れあう機会の創出
- スポーツに関する情報発信

### ③次世代につながるスポーツの推進「ささえる」スポーツ

- スポーツに関する様々な情報提供および相談機能の充実
- スポーツにおける多様な団体等との連携
- スポーツ指導者やスポーツボランティアなどの育成・支援
- 青梅市スポーツ振興基金を活用した支援・顕彰および基金への寄付

### ④理解を深め、互いに成長しあうスポーツの推進「まなびあう」スポーツ

- 学校体育と連携したスポーツを学ぶ機会の創出
- スポーツ・トレーニングや身体のあり方をまなぶ機会の創出
- スポーツについて語り、学び合える場の創出

### ⑤もっと青梅が好きになるスポーツの推進「あそぶ」スポーツ

- スポーツであそび、青梅ファンを創出
- 青梅という"地域特性"を生かした取組の創出と民間企業との連携